

## 「(仮称) 喜名こども園への移行に向けた説明会」当日の質問及び回答

【内容】 以下の内容沿って説明を行いました。

- ① 読谷村の現状
- ② 認定こども園導入に係る背景
- ③ 認定こども園について
- ④ 施設移行方針について
- ⑤ よくある質問

【日時】 令和7年2月9日(10:00~11:00)

【会場】 喜名公民館

No.	質問内容	回答者	回答内容
1	<p>入園の申し込み方法や選定についての質問</p> <p>1. 1号の校区内優先はあるが、2, 3号についての校区内優先はあるか。</p> <p>2. 受け入れ状況に応じて利用調整を行うというが、待機になることもあるのか。</p> <p>3. 2号の定員数2歳児が12名、3歳児が12名となっているため、2歳児の12名がそのまま持ち上がりになった場合は3歳児で入れないことがあるのではないかと。どのように考えているのか。</p>	読谷村	<p>(質問1に対して) 1号認定は校区内で優先します。2, 3号については村全域が対象となるため、校区内の優先はない。</p> <p>(質問2に対して) 2, 3号について村内の利用調整のため待機になる場合もある。1号の待機については定員の設定もあるため園の受け入れ状況(保育士確保状況等に応じて)、1号の申し込みが多くある場合は3, 4歳に関しては選定せざるを得ない場合もある。ただし、5歳児に関しては今までの公立幼稚園がしてきたように、定員オーバーしても1号で受け入れていきたいと考える。</p> <p>(質問3に対して) 2号については定員の範囲内での調整になるかと思う。1号で受け入れられるかについては先ほどの回答と同じであるが、できるだけ保育士の確保をして添えたいと思う。</p>

2	小学校入学に向けてどういった教育の取り組みを考えているのか。公立の幼稚園と同じような教育的なことを行うのか。(机にすわる練習。上履きを履く。)等。	あいわ 福祉会	公立幼稚園でやっていることを引き継いでやっていく。ただ教育を引き継ぐのではなく、子どもたちにとってよりよい環境づくりにつながられるような教育を考えている。小学校の運動会に参加するなどつなぎの部分で大事と考えるが、5歳児がこども園でしかできない発表もあるため、そこも充実していきたい。引継ぎしながら今の幼稚園の状況を確認することも計画に入っている。
3	幼稚園はいままで教育委員会の管轄だったが、こども園に代わったときにも教育委員会とも連携していくのか。	読谷村	公私連携型認定こども園と設置しているため、今後も連携してやっていく。市町村・法人として教育委員会と一緒にあって提携を結んでいく。今まで喜名幼稚園がやってきたことを引き継いでもらうという形で進めていきたいと考えている。
4	小学校へのつなぎも教育委員会がはいってもらえるのか。こども園から小学校へのスムーズな繋ぎというのも一緒に連携してやっていってもらえるのか。	読谷村	つなぎという部分は大事だと考える。そのため、スムーズに小学校にあがれるように連携してやっていきたいと思う。
5	幼稚園は文科省管轄、こども園は内閣府の管轄ということで幼稚園の指導やスタンスも変わってくると思う。その中で現在保育園が実施している食育・リトミックについて引き続き保育・教育内容として実施していけるのか。それについて指導が入っていくのか。 アレルギーやスプーンが進まない子についての対応については柔軟に対応してもらえるのか。	あいわ 福祉会	現在0～2歳で行っている活動は3～5歳で展開させていきたいと思っている。 食育について食事は全部食べ切らないといけないという昔の指導はしない。楽しく食べられるような工夫をした食育をしていきたい。アレルギーについては完全除去。年2回アレルギー検査結果を提出して園と保護者で確認をしながら進めていく。アレルギーを改善していくことはご家庭でやっていただきたい。
6	アレルギーの確認は認定こども園でも同様に病院で検査を年2回行うのか。	あいわ 福祉会	認定こども園でも同様の確認をします。
7	喜名こども園で一時預かりあるか。	読谷村	現在、一時預かり保育は公立の保育所2か所で行っている。喜名こども園が整備された後に、その機能が村立からこども園に移るかは未定。2,3号についてはスポットの利用はないため、1号に関しては午後の利用料を支払ってもらうことで利用することは可能。
8	質問ではなく希望。保育園の一時保育が利用したいのにできないことが多い。ファミサポを利用しているが支払いが大変で、利用したいのにできないという状況となっている。	読谷村	確かに村立で一時預かり保育を実施しているが、保育士の確保ができず、利用を制限している状況。保育士の確保に取り組んでいて通常の村立であずかれるように取り組んでいる。貴重な意見として承る。

9	0歳児の定員について減っていないのか。	読谷村	小規模保育園は存続され、その上でこども園が新設されるため0～4歳児の定員の増という形となる。これから村全体の計画では潜在的な待機児童も含めすべて受け入れられる施設を作っていこうという計画となっているため、今の定員から増になる計画。
10	喜名小学校区にいたるが別校区の幼稚園を選べるという選択肢はあるのか。	読谷村	村立の幼稚園については基本的には校区内で通うこととなっている。家庭の都合とかであれば相談してもらい、校区外の幼稚園に入ることも可能。
11	5歳児で喜名保育園から喜名こども園に転園できるのか。入園のハードルは上がるか。	読谷村	5歳児の定員は40名と設定している。ほかの校区で保育を受けた子が就学前の最後の5歳児になって住んでいる校区に通わせたいという想定をし、定員を多く設定している。現在の喜名幼稚園の受け入れも40名ぐらいなので、ほかの保育園から喜名こども園に希望される場合は今まで公立が行っていた通りすべて受け入れる方向で考えている。補足として、校区外の保育園に通っている子どもたちが、3, 4, 5歳児になったときに校区内の幼稚園またはこども園なりに戻れるタイミングを探していることもある。そのため全体的に定員を増やし、校区内に戻れるような環境設定を努力していきたい。